

文殊山登山口

トイレを整備

鯖江市、大正寺に

鯖江市が片上地区の文殊山大正寺登山口(大正寺町)に整備していたトイレがこのほど、完成した。写真。

北陸新幹線県内開業が目前に迫る中、登山者や観光客らの利便性向上を図った。築40年以上の老朽化したトイレを取り壊し、そばに建て替えた。昨年8月に着



工し、2月末に完成した。木造平屋建てで延べ床面積は18・65平方メートル。県産材を多用して森林と調和するデザインを採用した。

建物の上部に明かりとりを設け、男女トイレ内は明るい雰囲気。屋外の足洗い場や浄化槽も整備した。総事業費は2079万円。国の補助金を活用した。

落成式には地元住民ら約30人が参加し、テープカットして完成を祝った。

文殊山からは、北陸新幹線の車両や線路を眺めることもできる。(竹内史幸)